

～近鉄と三交不動産が連携～

## 四日市シネマホール跡地に、ホテルと商業施設で構成する複合ビルを建設します

近鉄では現在、事業基盤強化のため、沿線各地において主要ターミナルの整備を進めておりますが、このうち四日市ターミナルについては、既に中部近鉄百貨店四日市店の低層部とふれあいモール的大幅なリニューアルを行い、活性化を図ってまいりました。

この度、その四日市ターミナル整備計画の一環として、昨年に閉館したシネマホールの跡地において、近鉄と三交不動産が連携し、ホテルと商業施設で構成する9階建ての複合ビル「四日市駅前複合ビル（仮称）」を誕生させることといたしました。

上層部に配置するホテルについては、駅直近という立地の良さを生かして多くのビジネス客利用を見込み、三交不動産が「三交イン」ブランドの宿泊特化型ビジネスホテルを運営します。

商業施設の店舗構成については未定ですが、低層部に配置し、先般リニューアルしたふれあいモールと一体的にご利用していただける店舗を計画しています。詳細は下記のとおりです。

記



「四日市駅前複合ビル（仮称）」外観イメージ（西側＜ララスクエア側＞から見る）

・四日市駅前複合ビル（仮称）の全体概要

- 1．所在地 四日市市安島1丁目
- 2．敷地面積 約1,400㎡
- 3．構造規模 鉄筋コンクリート造 9階建て
- 4．延床面積 約3,950㎡
- 5．建物用途 1階・2階：商業店舗（延床面積1,000㎡）  
3階～9階：ホテル（延床面積2,950㎡）

フロア	用途	フロア構成
9階	ホテル	客室
8階		客室
7階		客室
6階		客室
5階		客室
4階		客室
3階		ロビー、朝食コーナー、ランドリーコーナー
2階	商業店舗	店舗
1階		店舗、ホテルエントランス

- 6．建築主 近畿日本鉄道(株)
- 7．投資額 約10億円
- 8．開業日 平成22年3月（予定）

・建物のデザインコンセプト

近鉄グループの飛躍を表現

本複合ビルの完成が近鉄創業百周年（平成22年）であることから、近鉄グループの今後の飛躍にかける思いをこめ、空に向けて真っ直ぐに伸びる2本のフィンを東西の壁面に配置し、創業二世紀目の「」を表しています。

調和

自然な明るさ、温かみを感じていただくため、テラコッタ（素焼き調）のルーバーやアースカラーのボードを商業ゾーンの外装に採用し、ふれあいモール店舗のデザインとの調和を図ります。

また、ふれあいモールからの回遊性を高めるため、東側に大きく突き出す大階段を配置します。

存在感

奥行きを感じさせるガラスカーテンウォールを大胆に採用し、シャープで端正なファサードに仕上げ、四日市ターミナルの中核施設の一つとして存在感を感じさせる建物とします。

さらに、外部デザインに変化を持たせて遠方からの視認性を高め、周辺の競合ホテルとの差異化を図るため、千鳥配置の客室窓を採用します。



「四日市駅前複合ビル（仮称）」外観イメージ  
（東側（四日市駅側）から見る）

・ホテル部分について

1. 名称 「三交イン四日市駅前」(仮称)
2. 客室数 140室
3. 価格帯 未定
4. 運営形態 三交不動産(株)が近畿日本鉄道(株)より建物を賃借して経営
5. その他 従来よりひと回り大きなユニットバスに、シングルルームでありながらダブルベッドをご用意いたします。また、朝食や光高速インターネット利用も無料です。



ホテルエントランス

・商業部分について

店舗構成は未定です。先般リニューアルしたふれあいモールと一体的にご利用していただける店舗を想定しており、今後、中部近鉄百貨店とも協力しながら、リーシングを進めてまいります。

・今後のスケジュール(予定)

平成20年	10月	現建物撤去開始
平成21年	3月	本体工事着手
平成22年	2月	本体工事竣工
平成22年	3月	開業

以上